

2016 年度短期集中春季英語セミナー

(スーパーグローバル大学等事業「経済社会の発展を牽引するグローバル人材育成支援」)

1. 短期集中春季英語セミナーの概要

国際コミュニケーションセンター (SOLAC) では、文部科学省「スーパーグローバル大学等事業「経済社会の発展を牽引するグローバル人材育成支援」の一環として、平成 29 年 2 月 14 日から 3 月 1 日まで、短期集中春季英語セミナーを開催した。実施したセミナーは「IELTS 短期集中セミナー」「TOEFL® 短期集中セミナー」「Academic Speaking 短期集中セミナー」である。

各セミナーの目的は、以下の通りである。

IELTS 短期集中セミナー	主に留学の際に必要な IELTS のスコアアップを目指すセミナー
TOEFL® 短期集中セミナー	留学や進学の際に必要な TOEFL® のスコアアップを目指すセミナー
Academic Speaking 短期集中セミナー	ディスカッションやプレゼンテーションをするための練習の場としてのセミナー

又、本セミナーの対象・クラスサイズ・使用言語は、以下の通りである。

対象者	神戸大学の学部学生・大学院生
クラスサイズ	原則として、1 クラスにつき 10 名～15 名の少人数制
使用言語	英語

2. セミナーの実施内容

開講された各セミナーの名称・講師・日程は、以下の通りである。なお、Course Description 等の詳細は、5. 参考資料に示す。

2.1 IELTS 短期集中セミナー

<セミナー名> Preparation for IELTS Intensive Course

<講師> Bradley Howe

<日程> 2 月 14 日(火) ～ 16 日(木) 3, 4 限 (計 6 コマ)

2.2 TOEFL® 短期集中セミナー

<セミナー名> Speaking for TOEFL® Intensive Course

<講師> Bradley Howe

<日程> 2月20日(月) ~ 22日(水) 3,4限 (計6コマ)

2.3 English Speaking 短期集中セミナー

<セミナー名> Academic Speaking Intensive Course

<講師> Ellen Rettig-Miki

<日程> 2月23日(木),27日(月),28日(火),3月1日(水) 3,4限 (計8コマ)

3. 実施実績

IELTS セミナーは、今回初めての開催となったが、将来の留学や海外経験を踏まえて、アカデミック・モジュールの試験対策を学習した。TOEFL®セミナーは、iBT (internet-based test)の Speaking セクションに特化した対策を学習し、いずれのセミナーも実際のテスト形式を体験しながら、個々にフィードバックされ、学習方法が紹介された。

Academic Speaking セミナーでは、Academic Speaking の基本表現を学習し、ペアワーク、小グループワークでディスカッションを体験、又、ショートプレゼンテーションや様々なスタイルのスピーキングスキルを学習した。

各セミナーの受講者数は、以下の通りである。

セミナー／コース名	講師	申込者数	初回 受講者数	最終日 受講者数
【IELTS 短期集中セミナー】				
Preparation for IELTS	Bradley Howe	14	9	8
【TOEFL®短期集中セミナー】				
Speaking for TOEFL®	Bradley Howe	18	16	11
【English Speaking 短期集中セミナー】				
Academic Speaking	Ellen Rettig-Miki	18	15	15
計		50	40	34

以下に学部・学年別受講者の内訳を示す。

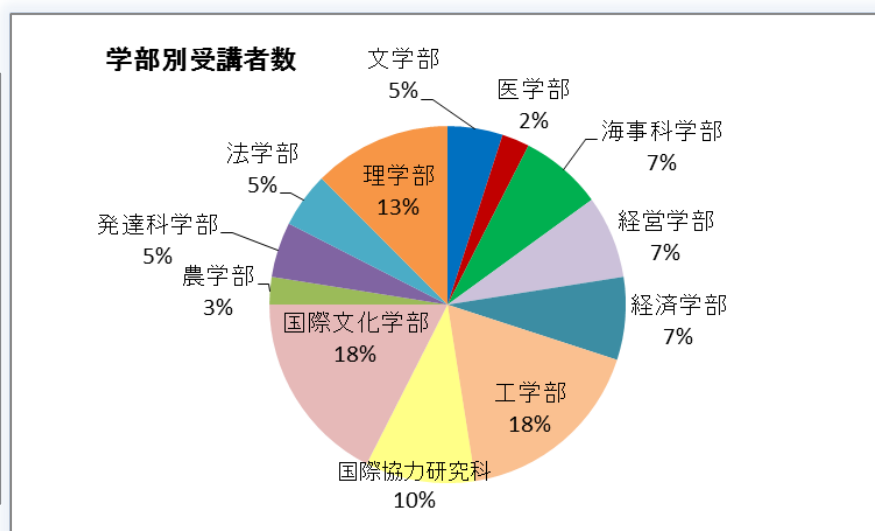
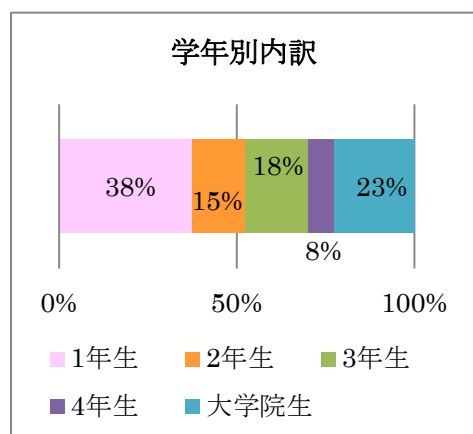
受講者述べ総数 40名

注：空欄は受講者が0であったことを示す。

	総数	1		2		3		4		大学院生
		総数	(GEC生)	総数	(GEC生)	総数	(GEC生)	総数	(GEC生)	
文学部	2	1				1				
医学部	1	1								
海事科学部	3			3						
経営学部	3	2						1		
経済学部	3	1	1	1						1
工学部	7	4		1				1		1
国際協力研究科	4									4
国際文化学部	7	4	3					1		2
農学部	1					1				
発達科学部	2			1	1	1	1			
法学部	2	2	2							
理学部	5					4				1
受講者数	40	15	6	6	1	7	1	3	0	9

短期集中夏季英語セミナーは、グローバル英語コース（GEC）の対象学部生を主たる対象としたものであるが、この取組は全学的な取り組みへと発展することを目指したものである為、取組学部（文、国際文化、発達科学、法、経済、経営学部）の学生の受講を優先した上で、定員の範囲内で取組学部以外の学生の受講も認めた。今回のセミナーで特徴的だったことは、延べ受講者数の学部別比率の隔たりが少なかったことである。受講者数が一番多かった国際文化学部、工学部は、全体の18%にとどまり、次に国際協力研究科が10%、他6学部が5~7%、医学部が2%であった。又、グローバル英語コース（GEC）の対象学部（文、国際文化、発達科学、法、経済、経営学部）の受講者数(47%)を対象学部以外の受講者数(53%)が上回ったことも特徴的である。GEC生の受講は、1年生は学年受講者数の60%であったが、全学年の受講者数に対しては、20%にとどまった。

以下に、応募者の学年別、学部別のグラフを示す。



4. 受講者へのアンケート結果報告

今後のセミナーの改善を図る為の参考にする為、各セミナー終了後、セミナーに対する感想や意見を記入してもらったアンケートを実施した。

アンケート集計結果（回答件数：30件）

Q1: 少人数制のセミナーを受講して、セミナーの前よりも、英語（留学）に対する学習意欲がわきましたか？		
はい、やる気ができました。	26件	87%
少しはやる気が出ました。	4件	13%
あまり変わりませんでした。	0件	0%

	Preparation for IELTS		Speaking for TOEFL®		Academic Speaking		Total	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合
少人数であった点	5	71%	5	50%	7	54%	16	53%
授業がすべて英語だった点	5	71%	9	90%	12	92%	22	73%
他受講者と意見交換ができた点	2	28%	7	70%	9	69%	13	43%
論理的な文章の書き方が具体的に理解できた点	2	28%	6	60%	6	46%	12	40%
英語を話す機会が多かった点	5	71%	8	80%	13	100%	20	67%
英語を聞く機会が多かった点	3	43%	5	50%	11	85%	21	70%
その他					1		1	3%

Q: セミナーで物足りなかったと思う点があれば、具体的に教えてください	
Preparation for IELTS	<ul style="list-style-type: none"> ・ リーディング、リスニングをもう少し強化してほしいです。 ・ ライティングの添削があれば良いと思いました。 ・ スピーキングに向けて表現をもっと学べたら良かった。 ・ パワーポイントのハンドアウト ・ パワーポイントの文字が小さくて読みづらいがありました。 ・ 生徒どうしはしばしば日本語だった ・ (別々で)会話を練習するチャンスが少なかったかなと思います。
Speaking for TOEFL®	<ul style="list-style-type: none"> ・ 何をすればいいのかわからない時があった。 ・ 期間が少し短い ・ 練習時間がもっと長かったらいいなと思っています。
Academic Speaking	<ul style="list-style-type: none"> ・ (受講者が)もう少し少なくていいと思う。 ・ ディスカッションの時間がもう少しあればいいと思いました。 ・ リピーティングが重要なのは理解しているが、もう少しだけ表現を使いながら覚えたかった。

Q: 「こんなセミナーがあったらいいなあ」と思うセミナーがあれば教えてください	
IELTS participants	<ul style="list-style-type: none"> ・ TOEIC 対策の講座 ・ 今回と同様のもの ・ 今回の授業がとてもよかったので、同じ内容をもう少し長い期間でやってほしいです。できれば同じ先生がいいです。 ・ もっと長期のもの（7日間くらい） ・ IELTS speaking ・ Writing papers correction services ・ このようなセミナーがもうちょっと多かったらいいなあと思います。
TOEFL® participants	<ul style="list-style-type: none"> ・ 今回のように toefl の一つのセクションのためのセミナー ・ アカデミックリーディングの授業 ・ [Listening]、[Speaking]が別々で練習がたっぷりできるセミナーを強く望んでおります。 ・ Speaking だけでなく、試験全般のセミナーがあったらいいなあと思っています、(その中で)Speaking と Writing が特にもっと長ければいいと思っています。 ・ GRE

Academic Speaking participants	<ul style="list-style-type: none"> ・ プレゼンテーションのクラス ・ Speaking Seminar ・ ディスカッション系のセミナー ・ ネイティブと話せるセミナー ・ ライティングをチェックするセミナー・今回のようなスピーキングセミナー ・ 同じようなセミナーの開催を増やして欲しいです。 ・ もう少し長時間のセミナー ・ 4日間が短かったです・1週間くらい参加したいです。 ・ このようなセミナーで、ディスカッションで英語を話したり、聞く機会があるセミナーがもっとあればと思います。
---	---

今回のセミナー受講生は、海外に滞在経験がある者も、将来留学の計画を立てている者も約 8 割おり、漠然と英語のスキルアップをしたいというよりも、各々がすでにかなり具体的な目標があるように見受けられ、英語を学ぶことに大変前向きであった。

IELTS セミナー、TOEFL[®]セミナーでは、テストを受ける予定の者や今のところ予定がない者など、受講者のモチベーションが様々である中、今セミナー初めての担当にも関わらず、講師の強い指導力のもとに、スコアアップの対策に照準をあわせることに集中したことにより、受講者の英語学習への意欲が高まったようである。フィードバックにも満足度を高く表す者が多かった。

Academic Speaking セミナーは、「英語を多く話す機会があった」ことに受講者全員が満足度を示していた。休憩中も含め、受講者間の交流も活発に行われている様子であった。講師が別途実施したフィードバックには、「自信がついた（自分の意見や、気持ちを適切な表現を使って表せることができるようになった）」「今後の研究や英語での発表が楽しみだ」という、今後の活動に役立つ有益で、アクティブな内容であったとともに、英語を自然に使うことができた良い環境であったことに対して、満足度が高かった。

今回のセミナーは、全セミナーで共通して、「もう一度受講したい」「もっと長く受講したい」「同じ先生から学びたい」という受講者からの前向きなコメントが多く見られた。講師の先生たちの丁寧で、熱心な指導が、受講生の満足度や今後の学習意欲につながったと言える。又、今セミナーでは、アジア系留学生の受講者が全体の受講者数に対して 18%に上ったが、国籍、学部、学部生、大学院生、様々なバックグラウンドをもちながら、高い志を持つ受講者が、講師の熱意と相まって、質の高いセミナーを実施することができたと言える。

5. 参考資料

【IELTS 短期集中セミナー】

[Preparation for IELTS]

D503 教室

Instructor: Bradley Howe

Course Description:

This intensive course aims to provide students with an overview of the IELTS® Test, including details and examples of what to expect in each of the four test sections. Useful strategies and tips for each test section and particular question types will be given in order to help students prepare and achieve their best score.

Schedule

February 14	13:20 –14:50	Speaking paper overview, tips and student practice.
	15:10 –16:40	Continued practice and feedback.
February 15	13:20 –14:50	Academic Reading paper overview, tips and student practice.
	15:10 –16:40	Listening paper overview, tips and student practice.
February 16	13:20 –14:50	Academic Writing paper overview, tips and student practice.
	15:10 –16:40	Continued practice and feedback.

Understanding the features and format of the IELTS exam along with knowing what is required to improve your score will boost your confidence and help you prepare for the test.

【TOEFL 短期集中セミナー】

[Speaking for TOEFL iBT®]

D503 教室

Instructor: Bradley Howe

Course Description:

This intensive course aims to provide students with an overview of the TOEFL iBT® Speaking Test including a summary of each question type and examples of what to expect in each question. By working on the skills required for each question type in the Speaking Test, student will gain confidence and a better understanding of what is required to achieve their best score.

Schedule

February 20	13:20 –14:50	Question type 1: Personal Experience. Overview, tips and practice.
	15:10 –16:40	Question type 2: Paired Choice. Overview, tips and practice.
February 21	13:20 –14:50	Question type 3: Campus Matters. Overview, tips and practice.
	15:10 –16:40	Question type 4: Academic Reading and Lecture. Overview, tips and practice.
February 22	13:20 –14:50	Question type 5: Campus Conversation. Overview, tips and practice.
	15:10 –16:40	Question type 6: Academic Summary. Overview, tips and practice.

By gaining an overview of every question type and practicing practical tips and strategies, students will increase in confidence and be better prepared for the TOEFL iBT® Speaking Section.

Instructor: Ellen Rettig-Miki

Course Description: This intensive course is designed to give students exposure to and practice in using English for academic purposes. The course will be taught entirely in English, giving students chances to practice using English in ways that they would need for academic contexts: this will include areas such as introducing, explaining, presenting, discussing, and persuading, among others. The level of this course is designed to offer a chance to practice English in a way authentic to real-life academic needs.

Schedule

Date	Focus
February 26th	Students will practice speaking one-on one, in presentations, and in small-group discussions, learning to use skills necessary in academic speaking to
February 29th	<ul style="list-style-type: none"> ➤ Introduce ➤ Question, Check, and Report ➤ Present: Organize and Deliver ➤ Give Feedback
March 1st	<ul style="list-style-type: none"> ➤ Narrate ➤ Give an Opinion, Agree, and Disagree ➤ Brainstorm and Select
March 2nd	<ul style="list-style-type: none"> ➤ Gather and Organize Information ➤ Get Language Help and Clarify Meaning ➤ Give Background and Set Up a Discussion ➤ Support a Position to Persuade ➤ Respond and Discuss ➤ Summarize and Finish